

閣議決定等

骨太方針2016（抄）（平成28年6月2日閣議決定）

（前略）法令等により必ず支出することになっている国庫支出金は、関連する取組を含めた制度全体の検討を進めることで、制度ごとに予算の有効活用や政策目的の実現を図っていく。

一方、地方の裁量度の高いものについては、地方の創意工夫を引き出し、実情に応じた取組を促すことが重要である。このため、国庫支出金の性格に応じ、その政策目的が実現したかどうかを地方自治体ごとに評価する指標（国庫支出金のパフォーマンス指標）の設定・評価のための分野横断的仕組みを構築する。国庫支出金のパフォーマンス指標の設定等に当たっては、行政事業レビューの成果指標（国レベルのアウトカム指標）と整合的かつ一体的に行うことが必要である。

「国庫支出金のパフォーマンス指標に係るフォローアップ調査」（以下フォローアップ調査）の結果について（抄）（第3回国と地方のシステムWG提出資料（本年3月））

調査件数24件（社会資本整備以外の分野）

- ・既にパフォーマンス指標を設定しているもの：14件
- ・平成29年度より新たに指標を設定又は充実するもの：5件（うち新規3件、充実2件）
- ・今後パフォーマンス指標を新たに設定又は充実するために検討を進めるもの：9件（うち新規6件、充実3件）

今後は、関係府省の連絡会等を通じて以下の取組を進め、進捗状況について、随時事務局より本WGに報告する。

1. 課題の共有 : 調査対象のうち、今後指標を設定するための検討を進める国庫支出金に対して、既に指標を設定した国庫支出金の課題解決の方向性を共有することで指標設定を促進
2. 横展開 : 今回、優先的に指標を設定した国庫支出金と類似の性格を有する国庫支出金について、新たに指標を設定することを促進
3. 「見える化」: 改革工程表に沿って、2017年度は設定したパフォーマンス指標の「見える化」を推進

骨太方針2017（抄）（平成29年6月9日閣議決定）

国庫支出金のパフォーマンス指標について、指標設定の促進とともに達成状況等の「見える化」を推進する。

本年3月以降の動き

関係府省から今後指標設定または検討するとして国庫支出金についてその取組状況を聴取しつつ、指標設定・「見える化」等の促進を働きかけ。

さらに、28・29年度に新たに創設された50億円以上の国庫支出金について関係府省に調査を実施した結果、14件中10件の国庫支出金について指標設定が可能と回答。

閣議決定等を踏まえての必要な対応

「見える化」・今後指標を設定または検討するとして国庫支出金の指標設定の進捗の確認が必要。

指標設定困難等としている国庫支出金について、指標設定の可否や今後の指標設定に向けた取組方針についての把握が必要。

 このため下記の調査を実施し、その結果を本年度中にWGに報告。調査に当たっては、類似の性格を有する国庫支出金について横展開を図るべく好事例を積極的に収集。

1. 調査対象

骨太の方針やこれまでのWGにおける議論等を踏まえ、50億円以上の全ての国庫支出金が対象。

2. 調査スケジュール

本年11月初目途で調査を依頼し、来年3月目途にWGに報告すべく作業を実施。

3. 調査内容

①パフォーマンス指標を設定済みの国庫支出金について「見える化」・予算配分のメリハリ・PDCAサイクルに基づく取組の進捗状況に係る調査

所管官庁HP等で地方自治体が設定した目標及び目標への進捗状況を、集約・分析・加工して容易に比較できるように利用しやすい形で公開しているか？

パフォーマンス指標の達成状況に応じた予算配分のメリハリやPDCAサイクルに基づく取組がどの程度進んでいるか？

②新規の国庫支出金や今後指標を設定または充実に検討するとして国庫支出金について、指標設定・「見える化」の進捗状況に係る調査

③横展開を図るべく指標設定困難等としている国庫支出金について、指標設定の可否に係る調査。

・支出金額決定の客観性（人数や面積等に基づき決まっているなど）。

・地方自治体の事業計画策定の有無や成果指標設定の有無。等